

特定非営利活動法人 日本キャリア開発協会

第 27 回通常総会資料

(2026 年 6 月 27 日)

1. 第 1 号議案 2025 年度事業報告書／1
2. 第 2 号議案 2025 年度決算報告書／4
活動計算書／5
貸借対照表／7
財産目録表／8
【参考】活動計算書（試験事業）／10
監査結果について／11
3. 第 3 号議案 2026 年度事業計画案／12
4. 第 4 号議案 2026 年度予算案／16
5. 第 5 号議案 九州事務所開設および定款変更案承認の件／18

第1号議案 令和7年度 事業報告書

令和7年4月1日～令和8年3月31日

特定非営利活動法人日本キャリア開発協会

1 事業の成果

当協会の会員数は令和8年（2026年）3月31日時点で22,017名（個人会員21,995名、法人会員22団体）となり、うちCDA会員数は19,946名、そしてキャリア会員は2,024名に達しました。当協会は、令和7年度も「内から外へ」というスローガンのもと、キャリアカウンセラーが持つ専門性を、社会的課題の解決および個人のキャリア形成支援に積極的に活用し、社会に貢献する活動を展開しました。

具体的には、全国各地の支部地区活動を通じたピアトレーニング等の相互研鑽活動、会報誌『JCDAジャーナル』の発行、キャリア関連講習・セミナーの実施（キャリアコンサルタント更新講習受講者16,710名、スキルアップ研修受講者1,480名）さらにはスーパーバイザーやインストラクターなど指導者の育成を通じ、会員の能力向上に努めました。また、国家資格キャリアコンサルタント試験の登録試験機関としての役割を果たし、年間の実受験者数は4,081名に上りました。

特に令和7年度においては、一般企業からの相談・依頼が増加し、セルフ・キャリアドック等の各社の施策を通じて、組織の成長へ繋げるべく個人へのキャリア形成支援推進の役割を担いました。また、自己探索ツール「人生すごろく『金の糸』」を活用した取り組みにおいては、「第4回金の糸アワード」の実施や、一般向けの無料ワークショップの実施、さらに金の糸アンバサダーの活動を通じてキャリアカウンセリングの社会的価値を発信しました。治療と仕事の両立支援を目的とした「りぼら」においては、公益財団法人日本対がん協会や認定NPO法人マギーズ東京との協働イベント等を通じて、社会的意義のある活動を広く発信しました。キャリア教育では、大学生向けに2024年度に創設したCDA STUDENT資格が2年目に入り、登録大学は4大学となり、11名の資格取得大学生が誕生しました。さらに、中・高校生向けのワークショップや職場訪問の受入れなど、キャリア教育の普及・推進にも力を入れました。令和5年度より取り組んでいる「キャリアドック（キャリアの定期診断）」事業を通じて、定期的にキャリアカウンセリングを受ける文化を醸成し、市民一人ひとりが自らのキャリア形成に向き合う活動を引き続き推進しています。また、キャリアカウンセラーやキャリアコンサルタントのさらなる質の向上を目指し、個別性の高い学びを深められる場としてスーパービジョンを受けられる仕組みや、倫理を学ぶ機会の提供を推進しました。

2025年は、設立から25周年を迎えた節目の年でもあり、12月には25周年記念大会を開催し、会員に留まらず一般の方も含め300名を越える方々に参加いただき、キャリアカウンセラーとして活動することの意義を、ともに考える場となりました。

以上のような活動を通じて、当協会は今後も社会課題解決への貢献と、キャリア形成支援のさらなる拡充をめざし活動を進めてまいります。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【461,278】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)			
1 キャリア開発とサービス提供者の水準と資格について、広報活動を行う	(1) 会員活動の推進	R7.4月～ R8.3月	全国		CDA, Cct, 市民		92,856			
	ピアトレーニングの実施							44	4,101	
	支部地区活動								6,760	
	研究会・啓発交流会活動								801	
	(2) 会報誌の発行									
	95～98号(電子版)							2	22,017	
	(3) キャリアドックの推進									
	キャリアドックの実施							66	99	
	プロモーションイベントの実施								338	
	(4) CDA STUDENT資格の推進									
	登録大学の認定							5	11	
	オンラインシンポジウムの開催								111	
	(5) 人生すごろく「金の糸」の推進									
	アワードの実施							11	120	
ガイドブックの発行		22,017								
アンバサダー活動	30	22,017								
無料ワークショップの開催	6	292								
(6) 物語ワークショップの開催	6	133								
(7) 無料セミナーの実施	5	319								
(8) 25周年記念大会	57	579								
(9) その他広報：プロモーション動画の作成	3	22,017								
2 キャリア情報の普及と学校、企業、その他の場面でキャリア開発に関して指導的役割を果たす	(1) キャリアカウンセリング業務及びキャリア形成支援(教育機関)	R7.4月～ R8.3月	全国		CDA, Cct, 市民		97,912			
	(2) キャリアカウンセリング業務及びキャリア形成支援(企業)							246	30,845	
	(3) キャリアカウンセリング業務及びキャリア形成支援(その他)							25	656	
	CCR							20	358	
	フェア							32	329	
	その他							3	3	
	(4) メール配信サービス							4	21,737	
	(5) 中学生・高校生向けプレゼンテーション指導のお手伝い							30	500	
	(6) 中学生・高校生向けキャリア形成支援							4	91	
	(7) 新任研修におけるグループディスカッションのフィードバック							13	100	
(8) 職業訓練に係るキャリアカウンセリング及びジョブカード作成支援セミナー実施	1	10								
(9) 教材販売	6	2,485								
3 キャリア開発理論と実践のテーマに関連したセミナー及び講演会を開催する	(1) キャリアコンサルタント更新講習の実施	R7.4月～ R8.3月	全国	154	CDA, Cct, 市民		98,850			
	(2) スキルアップ研修の実施							16,710		
	(3) 新規講習の開発							1,480		
						—				

定款に記載された事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
4 キャリア開発の分野を奨励し、強化するために、国の内外において他の団体と協力する	(1) 治療と仕事の両立支援	R7.4月～ R8.3月	全国	50	市民	—	1. に 含まれる
	① リレー・フォー・ライフへの参加					—	
	② 全国労働局主催の「地域両立支援推進会議」への参加					—	
	③ 企業向けセミナーの実施					60	
	④ Working Cancer Survivor's Day 2025の開催					75	
	⑤ オンライン茶話会の開催					8	
	⑥ オンライン無料相談の実施	6					
	(2) 他の団体と協力	R7.4月～ R8.3月	全国	—	市民	—	
	① 日本対がん協会					—	
	② 日本生産性本部					—	
	③ AYAコラボレーションズ（マギーズ 東京、がんノート、STAND UP!!）					—	
	④ 日本キャリア・カウンセリング学会					—	
⑤ 全米キャリア開発協会	—						
⑥ アジア太平洋キャリア開発協会ほか	—						
5 CDAの能力と倫理基準ガイドラインを設け、施行する	(1) スーパービジョン制度の構築と普及	R7.4月～ R8.3月	全国	15	CDA, CCt	22,017	1. に 含まれる
	(2) 倫理基準の普及			3			
6 指導者育成のためのカリキュラムを開発し、指導者の能力開発を行う。 キャリア形成を広く一般に普及させるためのプログラム開発を行う。	(1) スーパーバイザー養成	R7.4月～ R8.3月	全国	20	CDA	12	28,126
	(2) CDAインストラクター養成					12	
	(3) 指導者候補養成					103	
	(4) フォローアップ、ブラッシュアップ研修の実施					120	
	(5) キャリアプログラムの開発				CDA, CCt, 市民	1,348	
7 国家資格キャリアコンサルタント試験を実施する	(1) キャリアコンサルタント試験の実施 ・第29回試験 ・第30回試験 ・第31回試験	R7.4月～ R8.3月	札幌 仙台 金沢 東京 名古屋 大阪 広島 福岡 沖縄	250	CDA, CCt, キャリア コンサル タントを 目指す市 民	実受験者数 4,081	143,534
	(2) 試験委員の選任と育成					新規試験委員 3	
	(3) 水準調整会議の実施					361	

注)

- CDA（キャリア・デベロップメント・アドバイザー）：日本キャリア開発協会（JCDA）が認定するキャリアカウンセラー資格
- CCt（キャリアコンサルタント）：キャリア形成や職業能力開発などに関する相談・助言（キャリアコンサルティング）を行う専門家として、平成28年4月より、職業能力開発促進法に規定された国家資格
- 従事者：専従職員28名＋業務委託で従事するCDA会員

決 算 報 告 書

第 26 期

自 2025年 4月 1日

至 2026年 3月31日

特定非営利活動法人 日本キャリア開発協会

2025年度 活動計算書

2025年4月1日から 2026年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本キャリア開発協会
(単位：円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1 受取会費			
入会金収入	7,480,000		
会費収入	186,112,000	193,592,000	
2 事業収益			
業務受託	101,932,903		
メール配信サービス収入	4,530,000		
就職フェア手数料	910,000		
更新講習	150,699,385		
スキルアップ研修	8,490,500		
インストラクター養成	3,067,103		
SV養成	7,148,275		
指導者候補養成	6,301,095		
その他プログラム開発等	11,620,159		
受験料収入	127,580,898		
その他事業収入	16,527,876	438,808,194	
3 その他収益			
寄付金収入	110,000		
雑収入 預金利息収入他	727,376	837,376	
経常収益計			633,237,570
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	106,826,901		
法定福利費	16,319,416		
人件費計	123,146,317		
(2) その他経費			
派遣費用	11,654,545		
荷造運賃発送費	7,813,409		
広報宣伝費	3,332,841		
会議費	1,533,358		
旅費交通費	12,883,767		
保管料	178,265		
通信費	4,412,627		
消耗備品費	1,541,231		
新聞図書費	2,500		
支払手数料	14,546,762		
リース料	21,200		
印刷製本費	8,774,450		
会場費	68,007,043		
租税公課	2,600		
保守料	180,000		
システム運営費	6,869,340		
保険料	88,106		
諸会費	314,800		
業務委託費	189,932,297		
開発費	3,360,679		
寄附金	82,474		
雑費	2,599,621		
その他経費計	338,131,915		
事業費計		461,278,232	

2025年度 活動計算書

2025年4月1日から 2026年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本キャリア開発協会
(単位：円)

科 目	金 額		
2 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	25,953,260		
給料手当	23,096,297		
法定福利費	6,074,128		
人件費計	55,123,685		
(2) その他経費			
派遣費用	2,100,297		
福利厚生費	317,367		
研修採用費	1,704,856		
荷造運賃発送費	53,944		
交際費	90,284		
会議費	87,678		
清掃費	1,538,844		
旅費交通費	244,408		
保管料	45,612		
通信費	636,448		
消耗備品費	1,291,478		
水道光熱費	1,432,345		
新聞図書費	5,039		
支払手数料	4,070,137		
リース料	1,274,965		
支払報酬	215,670		
顧問料	9,987,312		
印刷製本費	1,082,544		
賃借料	16,601,064		
会場費	641,500		
租税公課	23,150,061		
システム運営費	11,264,688		
保険料	529,220		
諸会費	356,648		
寄付金	66,000		
業務委託費	385,000		
修繕費	1,265,047		
保守料	9,600		
雑費	2,080		
減価償却費	8,176,813		
その他経費計	88,626,949		
管理費計		143,750,634	
経常費用計			605,028,866
当期経常増減額			28,208,704
III 経常外収益			
経常外収益計	0		
IV 経常外費用			
経常外費用計	0		
税引前当期正味財産増減額			28,208,704
法人税、住民税及び事業税			140,000
前期繰越正味財産額			272,022,376
次期繰越正味財産額			300,091,080

2025年度 貸借対照表

2026年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本キャリア開発協会

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	341,061,818	
未収金	35,655,281	
前払金	5,930,659	
前払費用	1,759,693	
商品	1,669,681	
貯蔵品	906,488	
仮払金	2,160	
流動資産合計		386,985,780
2 固定資産		
(1)有形固定資産		
建物附属設備	6,961,732	
構築物	471,042	
工具器具備品	6,234,780	
有形固定資産計	13,667,554	
(2)無形固定資産		
ソフトウェア	11,337,009	
ソフトウェア仮勘定	3,170,000	
無形固定資産計	14,507,009	
(3)投資その他の資産		
敷金・保証金	9,139,348	
投資その他の資産計	9,139,348	
固定資産合計		37,313,911
資産合計		424,299,691
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	95,391,111	
未払費用	14,434,318	
前受金	8,946,280	
預り金	2,154,121	
仮受金	754,981	
未払消費税	2,527,800	
流動負債合計		124,208,611
2 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		124,208,611
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		272,022,376
当期正味財産増減額		28,068,704
正味財産合計		300,091,080
負債及び正味財産合計		424,299,691

2025年度 財産目録

2026年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本キャリア開発協会

(単位：円)

科 目	金 額	金 額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金手許有高	40,640	
普通預金 りそな銀行 渋谷	53,939,764	
普通預金 りそな銀行 上野	3,081,912	
普通預金 三菱UFJ 上野中央	110,139,825	
普通預金 三菱UFJ 上野中央	1,716,464	
普通預金 三菱UFJ 上野中央	595,031	
普通預金 三菱UFJ 上野中央	165,909,240	
普通預金 三菱UFJ 上野中央	1,140,931	
普通預金 三菱UFJ 大阪西	5,429	
普通預金 みずほ銀行 上野	342,050	
通常貯金 郵便局	1,032,661	
郵便振替 郵便局	3,117,871	
商品		
すごろくキット、マニュアル	1,669,681	
貯蔵品		
DVD、切手、書籍	906,488	
未収金		
業務受託収入	35,655,281	
前払金		
会場費前払金等	5,930,659	
前払費用		
前払事務所家賃	1,759,693	
仮払金		
誤納金	2,160	
流動資産合計		386,985,780
2 固定資産		
(1)有形固定資産		
建物附属設備		
事務所内装工事等	6,961,732	
構築物		
看板	471,042	
工具器具備品		
サーバー他OA機器等	6,234,780	
有形固定資産計	13,667,554	
(2)無形固定資産		
ソフトウェア		
管理システム構築費等	11,337,009	
ソフトウェア仮勘定	3,170,000	
無形固定資産計	14,507,009	

2025年度 財産目録

2026年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本キャリア開発協会

(単位：円)

科 目	金 額		
(3)投資その他の資産			
敷金・保証金			
事務所賃借保証金	9,139,348		
投資その他の資産計	9,139,348		
固 定 資 産 合 計		37,313,911	
資 産 合 計			424,299,691
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金			
2026年3月分費用	95,391,111		
未払費用			
未払給与・社会保険料	14,434,318		
前受金			
受講料ほか前受金	8,946,280		
預り金			
源泉所得税・住民税等	2,154,121		
仮受金			
誤納金ほか	754,981		
未払消費税			
2026年3月期納付分	2,527,800		
流 動 負 債 合 計		124,208,611	
2 固定負債			
固 定 負 債 合 計		0	
負 債 合 計			124,208,611
正 味 財 産			300,091,080

【参考資料】

2025年度 活動計算書(資格試験事業)

2025年4月1日から 2026年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本キャリア開発協会
(単位：円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
事業収入		127,637,398	
経常収益計			127,637,398
II 経常費用			
事業費			
(1) 人件費			
給料手当	13,956,043		
法定福利費	1,979,537		
人件費計	15,935,580		
(2) その他経費			
荷造運賃発送費	4,161,200		
旅費交通費	2,437,363		
保管料	114,145		
通信費	484,650		
消耗備品費	83,688		
支払手数料	6,508,738		
印刷製本費	1,683,917		
会場費	57,774,916		
保守料	180,000		
システム運営費	66,675		
業務委託費	53,036,521		
開発費	1,066,449		
雑費	0		
その他経費計	127,598,262		
事業費計		143,533,842	
経常費用計			143,533,842
当期経常増減額			-15,896,444

監査結果について

1. 監査について

定款第 15 条に従い、理事会に出席して業務の執行状況を監査するとともに、事業年度の事業報告書、計算書類及び財産目録について監査を行いました。

2. 監査結果

- ① 特定非営利活動法人日本キャリア開発協会の 2025 年度（自 2025 年 4 月 1 日至 2026 年 3 月 31 日）にかかる事業報告、活動計算書、同（資格試験事業）、貸借対照表及び財産目録の内容は、正確かつ適正であることを確認しました。
- ② 理事の業務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認めませんでした。

2026 年 5 月 12 日

監 事 竹林 俊二

第3号議案 令和8年度 事業計画書

令和8年4月1日～令和9年3月31日

特定非営利活動法人日本キャリア開発協会

1 事業計画の方針

JCDAは設立25年目を迎え、これまで培ってきたキャリアカウンセリングの専門性と、全国に根を張る会員活動を礎に、さらなる成長を目指します。設立20周年に掲げたスローガン「内から外へ」の理念を引き継ぎ、活動(Activity)、提言(Advocacy)、能力開発(Ability development)の「3A」を軸に、社会への貢献をより一層進めていきます。

まず、キャリア教育の分野では、企業・大学との協働により、小中学生向けの新たなツール開発に取り組みます。子どもたちが自分自身の経験や関心に目を向け、将来を考えるきっかけとなるような、キャリア教育の新たな可能性を広げていきます。

また、キャリアカウンセリングの質の向上と実践機会の拡大を目的に、これまで会員向けに開催してきたピアトレーニングを、会員以外の国家資格キャリアコンサルタント有資格者や、資格取得を目指す方々にも開いていきます。CDAが大切にしてきた対話と学び合いの文化を、より広いキャリア支援者の成長につなげていきます。

あわせて、CDAの専門性をあらためて整理し、社会にわかりやすく示していくための委員会を立ち上げます。これまでの25年間にわたる実践の蓄積を踏まえ、CDAが大切にしてきたキャリアカウンセリングの価値や能力要件を可視化し、今後の人材育成、能力開発、資格のあり方にもつなげていきます。

キャリアドックでは、新たなシステムを導入し、CDAによる自律的な普及活動を後押しするとともに、利用者の利便性向上を図ります。ライフラインチャートを用いて人生全体を見つめ直し、CDAとの対話を通じて経験の意味づけと自己理解を深めていく取り組みを、さらに広げていきます。定期的なキャリアカウンセリングを通じて、市民一人ひとりのウェルビーイングと成長を支える仕組みとして、今後も全国の会員と連携し、その価値を社会に浸透させていきます。

さらに、地域に根ざした活動を一層推進するため、九州・沖縄地域における新たな拠点として、九州事務所の開設準備を進めます。全国に広がる会員活動の基盤をさらに強化するとともに、地域の実情に即したキャリア支援の実践を生み出し、各地域からJCDA全体の新たな価値創造につなげていきます。

次に、CDAの活躍の場を広げる取り組みとして、教育機関との連携による「CDA STUDENT 資格」や職業情報インタビューなど、多様な経験を活かせる場の創出に取り組んでいます。これにより、キャリアカウンセラーとしての新たな活動の幅を広げながら、次世代を担う若者の成長に寄与し、未来のCDAとの出会いにもつなげていきます。

また、今年度も「金の糸アワード」や「金の糸アンバサダー」の展開を通じて、キャリアカウンセリングの魅力と価値を広く一般に伝える活動に力を入れていきます。これらの取り組みは、社会への発信であると同時に、CDA自身のキャリア形成や学びの場にもなっており、越境学習としての意義も持っています。

JCDAは今後も、一人ひとりが関心や専門性を活かし、新しい経験と価値を生み出せる環境を整えていきます。そして、「つながりの幸福」を追求しながら、キャリア支援を通じて、誰もが自分らしく成長し、社会とつながっていきける、より良い社会の実現を目指していきます。同時に、JCDA自身もまた、経験代謝を体現する法人・活動体でありたいと考えています。これまでの25年の歩みの中で積み重ねてきた経験を丁寧に振り返り、そこにある意味や社会的意義を見出し、次の実践へとつなげていく。そのプロセスを通じて、キャリアカウンセリングを支えるマインドを深めるとともに、CDAの専門性の研究と可視化を進め、意味の実現を通して成長し続ける組織を目指していきます。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【507,561】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	実施予定日	実施予定場所	従事者予定人数	受益対象者範囲	受益対象者予定人数	事業費(千円)
1 キャリア開発とサービス提供者の水準と資格について、広報活動を行う	(1) 会員活動の推進	R8.4月～ R9.3月	全国		CDA, CCt, 市民		
	ピアトレーニングの実施			35		4,000	
	支部地区活動			1		6,700	
	研究会・啓発交流会活動			2		1,000	
	(2) 会報誌の発行						
	99～102号(電子版)			2		22,500	
	(3) キャリアドックの推進						
	キャリアドックの実施			2		500	
	プロモーションイベントの実施			5		400	
	担当CDAの育成			15		80	
	(4) CDA STUDENT資格の推進						
	登録大学の認定					10	
	オンラインシンポジウムの開催			6		100	
	(5) 人生すごろく「金の糸」の推進						
	アワードの実施			15			
	ガイドブックの発行			0		22,500	
	アンバサダー活動			30			
無料ワークショップの開催	6	240					
(6) 物語ワークショップの開催	6	150					
(7) 無料セミナーの実施	5	400					
							99,834

定款に記載された事業名	事業内容	実施予定日	実施予定場所	従事者予定人数	受益対象者範囲	受益対象者予定人数	事業費(千円)
2 キャリア情報の普及と学校、企業、その他の場面でのキャリア開発に関して指導的役割を果たす	(1) キャリアカウンセリング業務及びキャリア形成支援(教育機関)	R8.4月～ R9.3月	全国	300	CDA, CCt, 市民	26300	106,553
	(2) キャリアカウンセリング業務及びキャリア形成支援(企業)			25		350	
	(3) キャリアカウンセリング業務及びキャリア形成支援(その他)						
	CCR			20		384	
	フェア			35		330	
	その他			3		3	
	(4) メール配信サービス			4		22,500	
	(5) 中学生・高校生向けプレゼンテーション指導のお手伝い			50		500	
	(6) 中学生・高校生向けキャリア形成支援			10		400	
(7) 職業訓練に係るキャリアカウンセリング及びジョブカード作成支援セミナー実施	2	10					
(8) 教材販売	6	1,770					
3 キャリア開発理論と実践のテーマに関連したセミナー及び講演会を開催する	(1) キャリアコンサルタント更新講習の実施	R8.4月～ R9.3月	全国	154	CDA, CCt, 市民	18,325	111,432
	(2) スキルアップ研修の実施					1,527	
	(3) 新規講習の開発					—	
4 キャリア開発の分野を奨励し、強化するために、国の内外において他の団体と協力する	(1) 治療と仕事の両立支援	R8.4月～ R9.3月	全国	50	市民	—	1.に 含まれる
	① リレー・フォー・ライフへの参加					—	
	② 全国労働局主催の「地域両立支援推進会議」への参加					—	
	③ 企業向けセミナーの実施					50	
	④ Working Cancer Survivor's Day 2026の開催					50	
	⑤ オンライン茶話会の開催					30	
	⑥ オンライン無料相談の実施	20					
	(2) 他の団体と協力	R8.4月～ R9.3月	全国	—	市民	—	
	① 日本生産性本部					—	
	② AYAコラボレーションズ(マギーズ東京、がんノート、STAND UP!!)					—	
	③ 日本キャリア・カウンセリング学会					—	
④ 全米キャリア開発協会	—						
⑤ アジア太平洋キャリア開発協会ほか	—						
5 CDAの能力と倫理基準ガイドラインを設け、施行する	(1) スーパービジョン制度の構築と普及	R8.4月～ R9.3月	全国	25	CDA, CCt	22,500	1.に 含まれる
	(2) 倫理基準の普及			4			

定款に記載された事業名	事業内容	実施予定日	実施予定場所	従事者予定人数	受益対象者範囲	受益対象者予定人数	事業費(千円)	
6 指導者育成のためのカリキュラムを開発し、指導者の能力開発を行う。 キャリア形成を広く一般に普及させるためのプログラム開発を行う。	(1) スーパーバイザー養成	R8.4月～ R9.3月	全国	20	CDA	11	28,708	
	(2) CDAインストラクター養成					12		
	(3) 指導者候補養成					96		
	(4) フォローアップ、ブラッシュアップ研修の実施					146		
	(5) キャリアプログラムの開発				CDA, CCt, 市民	1,218		
7 国家資格キャリアコンサルタント試験を実施する	(1) キャリアコンサルタント試験の実施 ・第32回試験 ・第33回試験 ・第34回試験	R8.4月～ R9.3月	札幌 仙台 金沢 東京 名古屋 大阪 広島 福岡 沖縄	250	CDA, CCt, キャリアコンサルタントを目指す市民	5,200	161,034	
	(2) 試験委員の選任と育成					3		—
	(3) 水準調整会議の実施					3		360

注)

- CDA (キャリア・デベロップメント・アドバイザー) : 日本キャリア開発協会 (JCDA) が認定するキャリアカウンセラー資格
- CCt (キャリアコンサルタント) : キャリア形成や職業能力開発などに関する相談・助言 (キャリアコンサルティング) を行う専門家として、平成 28 年 4 月より、職業能力開発促進法に規定された国家資格
- 従事者 : 専従職員 29 名 + 業務委託で従事する CDA 会員

第4号議案 2026年度予算案

2026年 4月 1日から 2027年 3月 31日まで

(単位：円)

科 目		金 額		
I 経常収益				
1	受取会費			
	入会金収入	6,720,000		
	会費収入	195,267,000	201,987,000	
2	事業収益			
	業務受託	100,300,000		
	メール配信サービス収入	4,400,000		
	就職フェア手数料	910,000		
	更新講習	158,605,000		
	スキルアップ研修	9,036,000		
	インストラクター養成	2,378,000		
	SV養成	7,191,000		
	指導者候補養成	8,234,000		
	その他プログラム開発等	9,854,000		
	受験料収入	141,245,000		
	その他事業収入	16,610,000	458,763,000	
3	その他収益			
	雑収入 預金利息収入他		500,000	
	経常収益計			661,250,000
II 経常費用				
1	事業費			
	(1)人件費			
	給料手当	119,438,000		
	法定福利費	18,318,000		
	人件費計	137,756,000		
	(2)その他経費			
	派遣費用	13,394,000		
	荷造運賃発送費	6,781,000		
	広報宣伝費	4,130,000		
	会議費	200,000		
	旅費交通費	10,747,000		
	保管料	137,000		
	通信費	3,510,000		
	消耗備品費	2,380,000		
	新聞図書費	4,000		
	支払手数料	14,802,000		
	印刷製本費	9,463,000		
	会場費	72,932,000		
	保守料	480,000		
	租税公課	0		
	システム運営費	6,250,000		
	保険料	110,000		
	諸会費	315,000		
	業務委託費	213,615,000		
	開発費	9,193,000		
	雑費	1,362,000		
	その他経費計	369,805,000		
	事業費計		507,561,000	

第 5 号議案 九州事務所開設および定款変更案承認の件

当協会の事業拡充および九州・沖縄エリアにおける活動基盤強化を目的として下記の通り九州事務所の開設及びこれに伴う定款の一部変更について承認を求める。

1. 九州事務所開設について

- (1) 設置場所：福岡県福岡市（最終的な場所については理事会に一任）
- (2) 設置時期：令和 8 年 7 月（予定）
- (3) 設置目的：学校関係機関、企業、並びに行政機関に対する連携強化並びに事業推進体制の充実（行政機関の委託事業の採択含む）
一般の方へキャリアカウンセリングやキャリアセミナーの実施
キャリアカウンセリングを受託できる CDA の育成
- (4) 体制：人員 1 名(予定)
- (5) 年間経費見込：

・事務所関連費（家賃・水道光熱費・什器備品等）	5,800,000 円／年
・人件費	3,000,000 円／年

2. 定款の一部変更について

- (1) 変更理由：九州事務所の開設に伴い、従たる事務所の所在地を追加するため。

- (2) 変更内容：

<現行>

第 2 条 この法人は、主たる事務所を東京都中央区日本橋蛸殻町二丁目 14 番 5 号に置く。

2 前項のほか、従たる事務所を大阪府大阪市北区西天満五丁目 9 番 7 号に置く。

<変更後>

第 2 条 この法人は、主たる事務所を東京都中央区日本橋蛸殻町二丁目 14 番 5 号に置く。

2 前項のほか、従たる事務所を大阪府大阪市北区西天満五丁目 9 番 7 号と、福岡県福岡市に置く。

以上